

# snapshot

生活者スナップショット

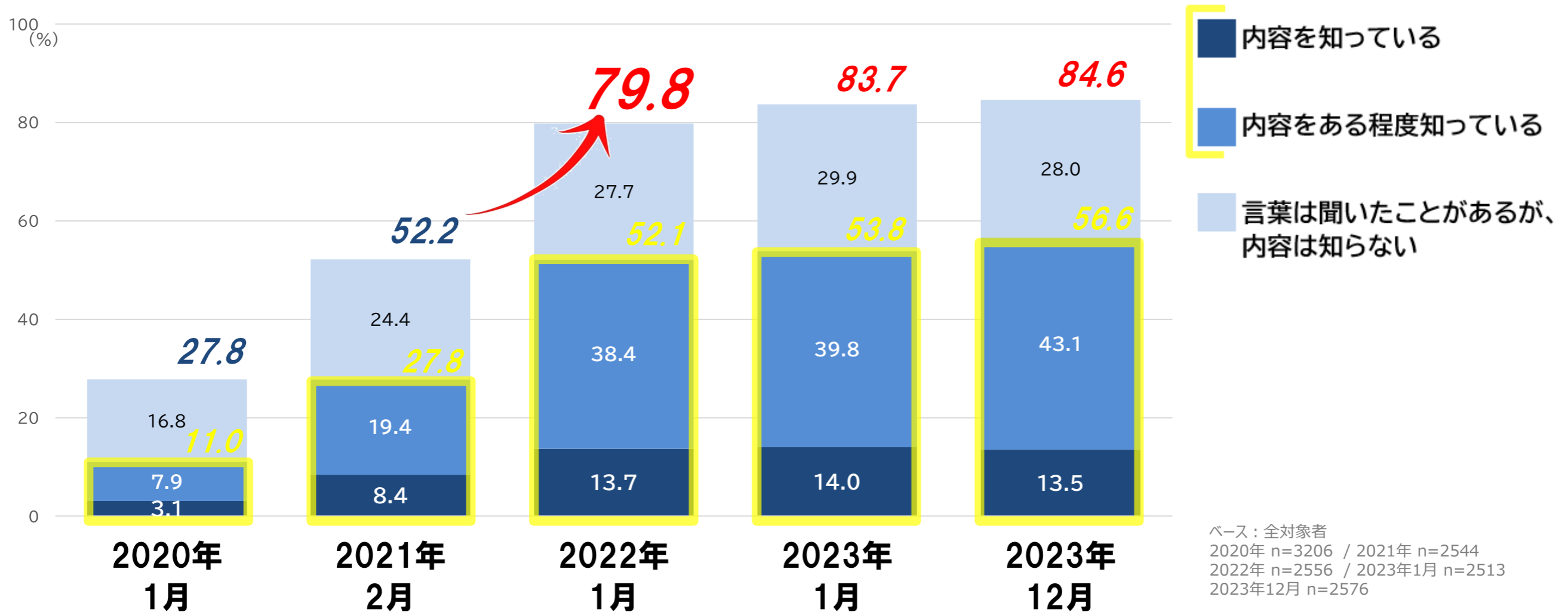
2024.3.5 Vol.5

こころの安寧がもたらす  
ウェルビーイング

---

株式会社インテージ  
生活者研究センター センター長  
田中 宏昌

# SDGsの理解浸透状況(2020年 – 2023年末)

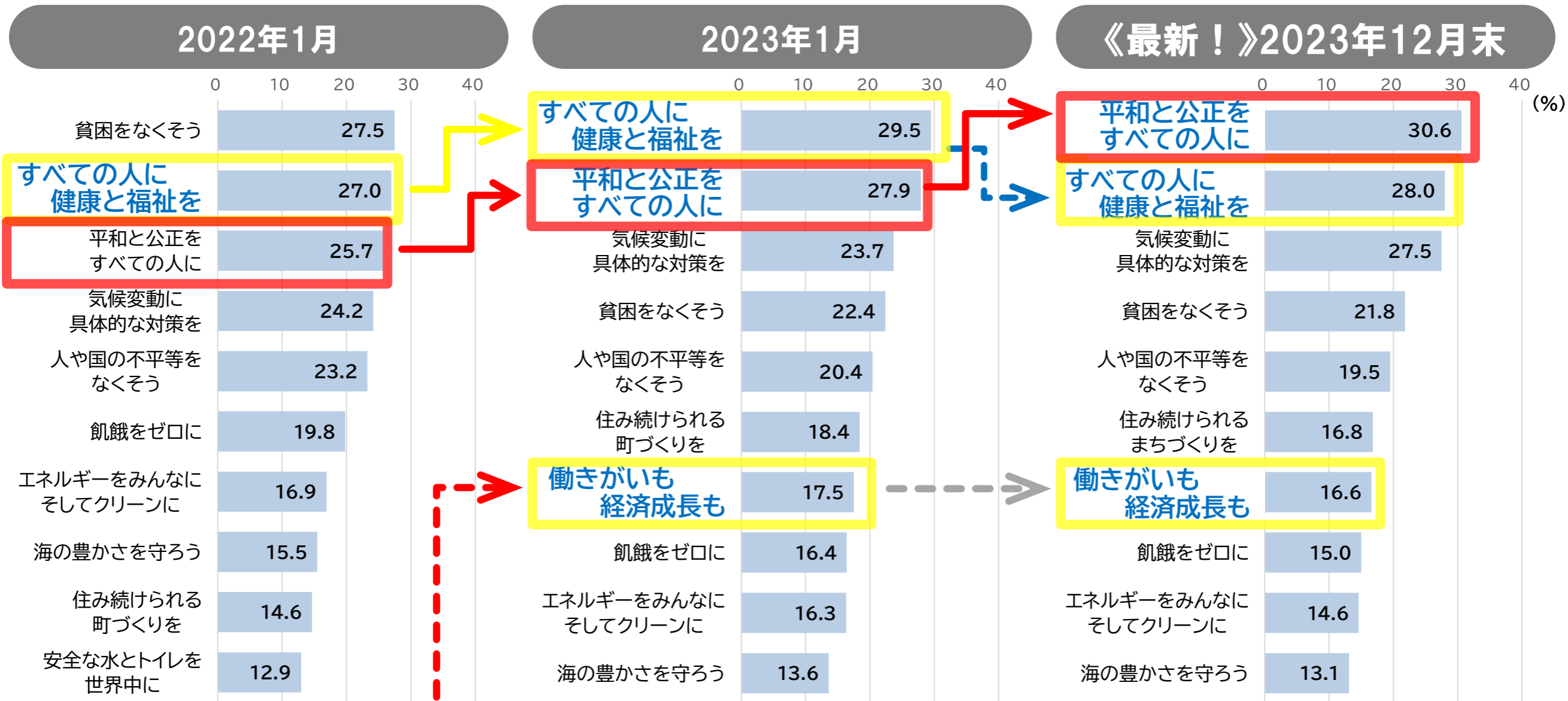


Q. あなたは、SDGs(サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ:持続可能な開発目標)をご存じですか。

**SDGs認知は2022年に約8割に達した。以後、微増傾向が続く。**



# SDGs : 17の目標の中で優先的に取り組むべきだと思うもの《Top10》

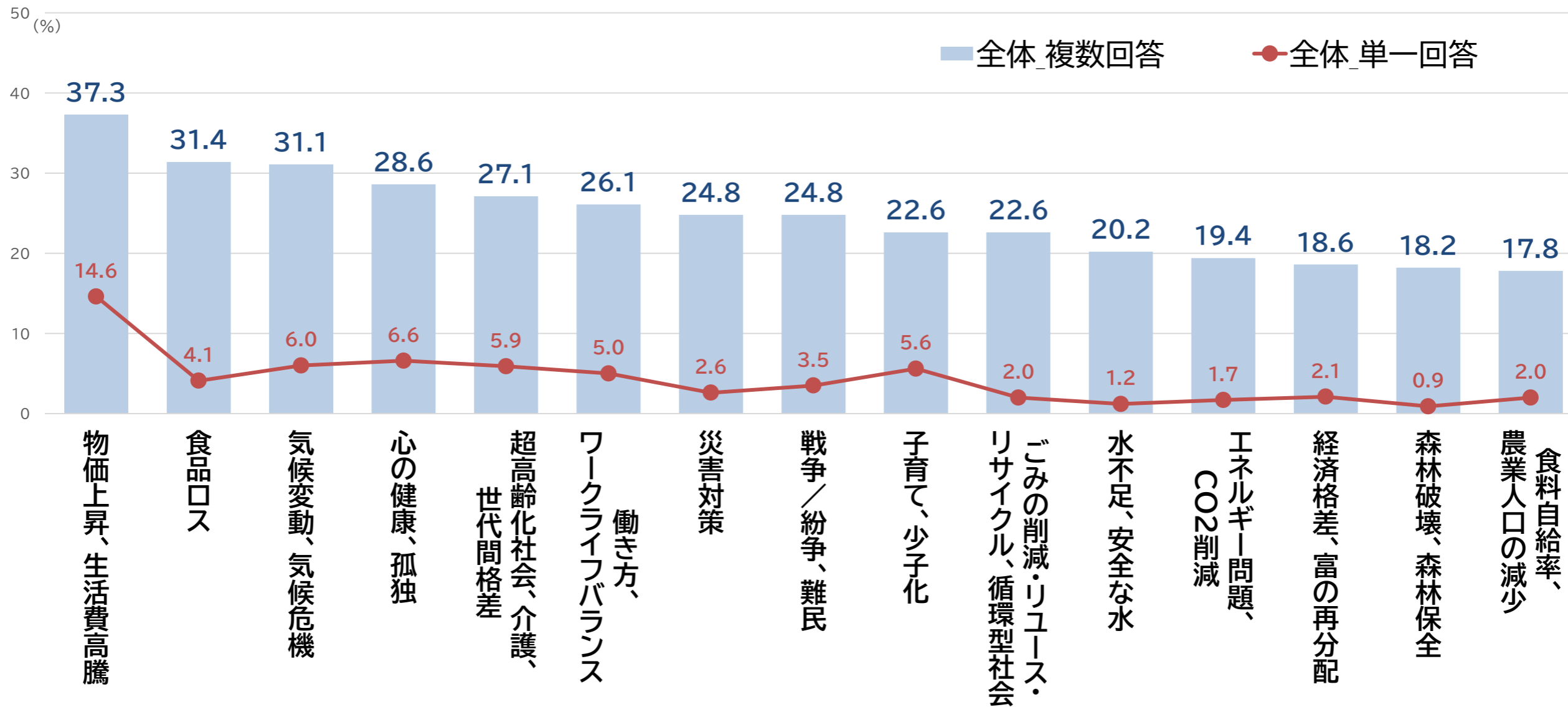


Q. SDGsでは、以下の17の目標が挙げられています。優先的に取り組むべきだと思う順に上位3つをお答えください。 ベース：全対象者（2022年 n=2556/2023年1月 n=2513/2023年12月 n=2576）

新型コロナウイルス感染不安やウクライナなどの社会情勢不安を反映して「平和と公正をすべての人に」、「すべての人に健康と福祉を」が上位へ。



# 関心のある社会課題・テーマ



Q. あなたの関心のある課題・テーマはありますか。

ベース：全対象者（2023年12月 n=2576）

最重要課題は「物価上昇」、「心の健康・孤独」や「超高齢化・介護」といった  
‘Well-being(幸福)’につながる課題感も根強い。



# 【最新:2023年12月】関心のある社会課題・テーマ(男女別)

全体		複数回答	単一回答	男性		複数回答	単一回答	女性		複数回答	単一回答	(%)
1	物価上昇、生活費高騰	37.3	14.6	1	物価上昇、生活費高騰	33.5	13.1	1	物価上昇、生活費高騰	41.1	16.0	
2	食品ロス	31.4	4.1	2	気候変動、気候危機	27.6	6.3	2	食品ロス	39.6	5.9	
3	気候変動、気候危機	31.1	6.0	3	戦争／紛争、難民	24.8	4.9	3	心の健康、孤独	35.4	9.3	
4	心の健康、孤独	28.6	6.6	4	超高齢化社会、介護、世代間格差	24.1	5.3	4	気候変動、気候危機	34.7	5.8	
5	超高齢化社会、介護、世代間格差	27.1	5.9	5	働き方、ワークライフバランス	23.7	5.3	5	超高齢化社会、介護、世代間格差	30.1	6.5	
6	働き方、ワークライフバランス	26.1	5.0	6	食品ロス	23.2	2.3	6	働き方、ワークライフバランス	28.5	4.7	
7	災害対策	24.8	2.6	7	災害対策	22.3	2.3	7	ごみの削減・リユース・リサイクル、循環型社会	27.6	2.1	
8	戦争／紛争、難民	24.8	3.5	8	心の健康、孤独	21.9	3.9	8	災害対策	27.4	2.9	
9	子育て、少子化	22.6	5.6	9	デジタル化	21.2	4.0	9	子育て、少子化	26.4	7.3	
10	ごみの削減・リユース・リサイクル、循環型社会	22.6	2.0	10	エネルギー問題、CO2削減	19.9	2.4	10	戦争／紛争、難民	24.7	2.2	
11	水不足、安全な水	20.2	1.2	11	日本企業の競争力低下	19.2	3.6	11	児童虐待、ネグレクト	22.5	1.6	
12	エネルギー問題、CO2削減	19.4	1.7	12	経済格差、富の再分配	19.0	2.2	12	水不足、安全な水	22.2	1.2	
13	経済格差、富の再分配	18.6	2.1	13	子育て、少子化	18.7	3.9	13	森林破壊、森林保全	19.5	0.4	
14	森林破壊、森林保全	18.2	0.9	14	水不足、安全な水	18.3	1.2	14	食料自給率、農業人口の減少	19.2	2.0	
15	食料自給率、農業人口の減少	17.8	2.0	15	ごみの削減・リユース・リサイクル、循環型社会	17.5	1.9	15	エネルギー問題、CO2削減	18.8	0.9	

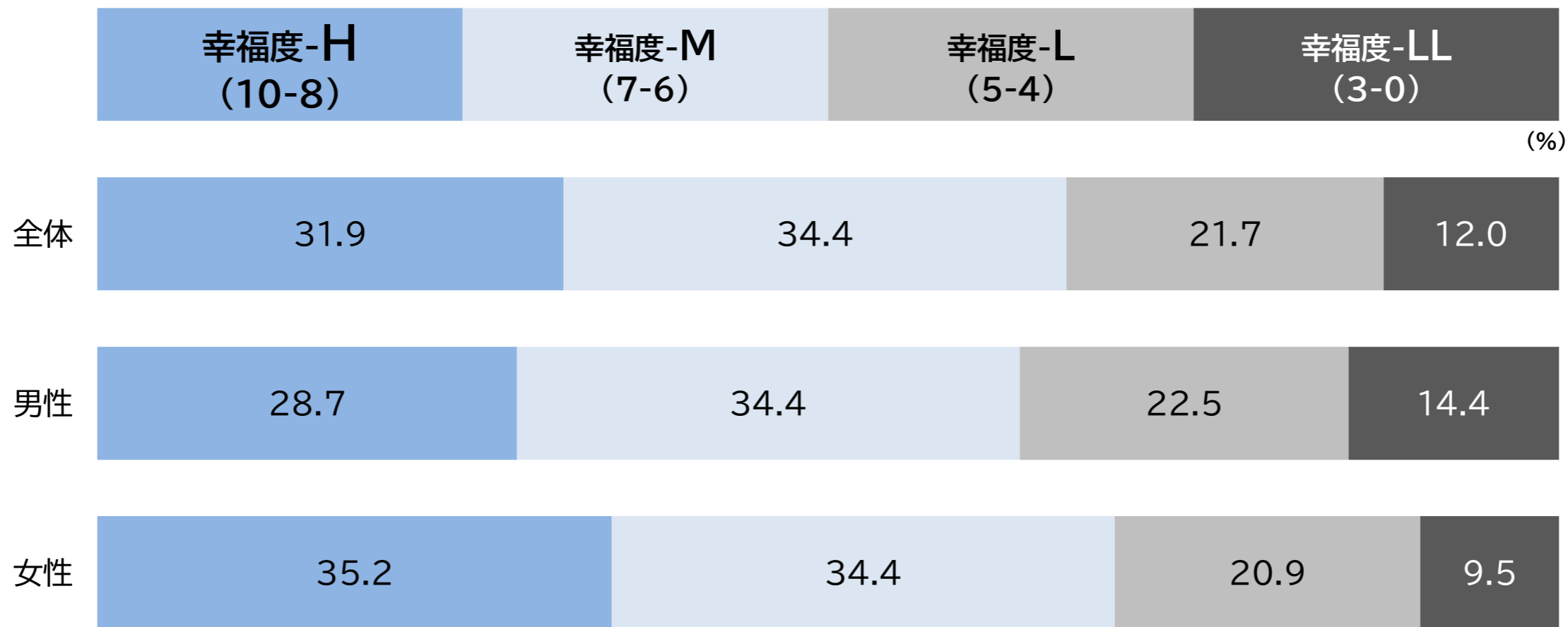
Q. あなたの関心のある課題・テーマはありますか。

ベース：全対象者（2023年12月 n=2576）

「物価上昇」は女性の関心が高く、「食品ロス」、「子育て・少子化」、「児童虐待」など、身近な課題への関心が高い。  
男性は「戦争」、「デジタル化」、「日本企業の競争力低下」など、社会的課題への関心が高い。



# 現在の幸福度(10満点の自己採点)



Q. 現在、あなたはどの程度幸せですか？

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

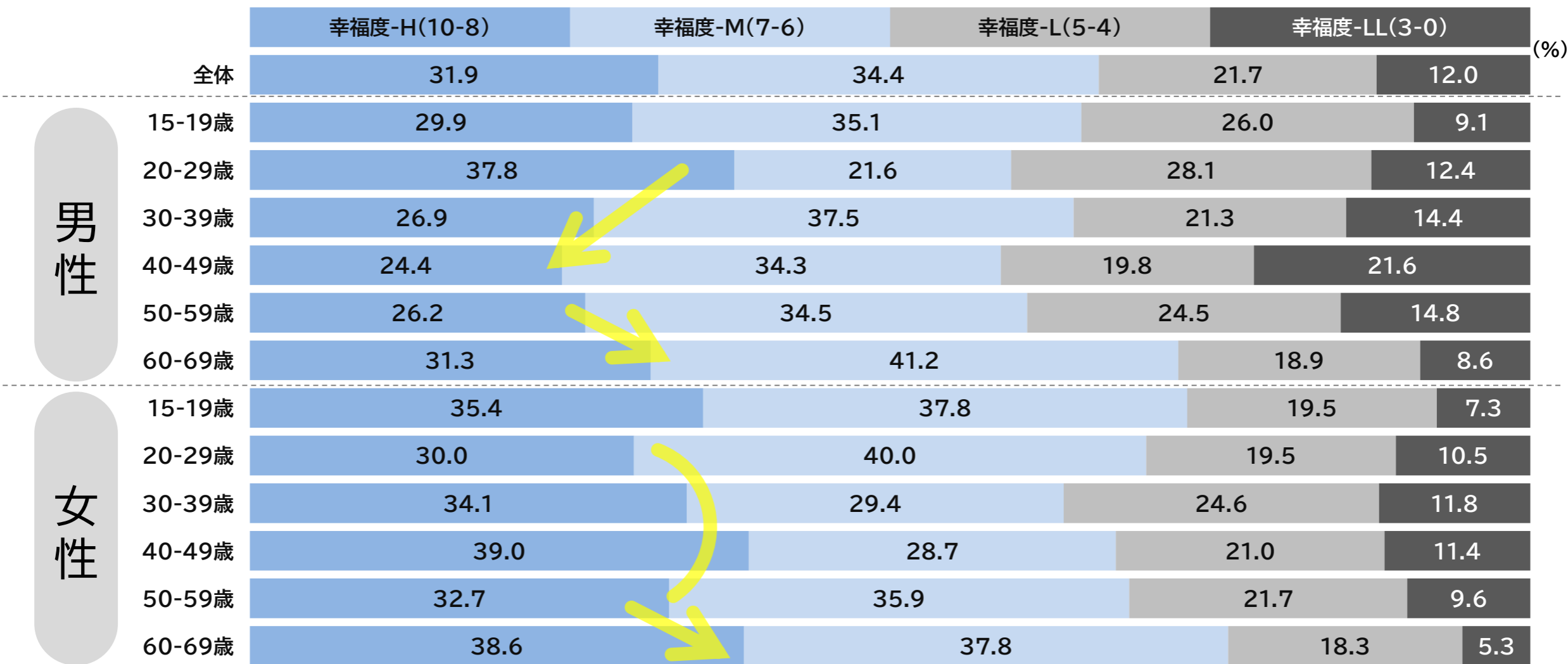
ベース：全対象者 (2023年 n=2576)

インテージ 定点調査 第35回 2023年12月 実施

**男性と比較して女性の方が「幸福度」は高い。**



# 現在の幸福度(10満点の自己採点)



Q. 現在、あなたはどの程度幸せですか？

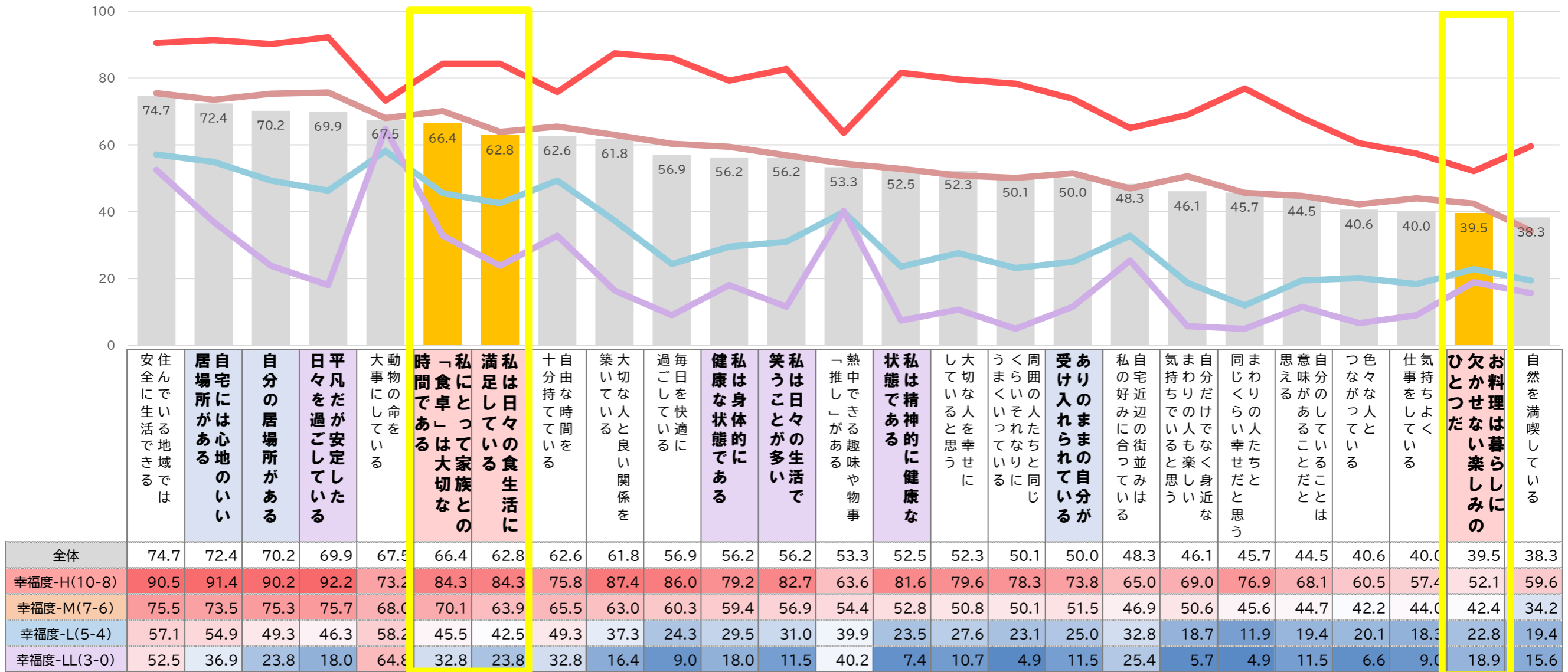
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

ベース：全対象者（2023年 n=2576）

インテージ 定点調査 第35回 2023年12月 実施

**男性20代から50代にかけては幸福の減退期. 男性20代では幸福度が二極化.  
女性は20代～40代は同水準. 50代で落ち込むも60代では一気に幸福度が増す.**

# ウェルビーイングであるための構成要素(女性)



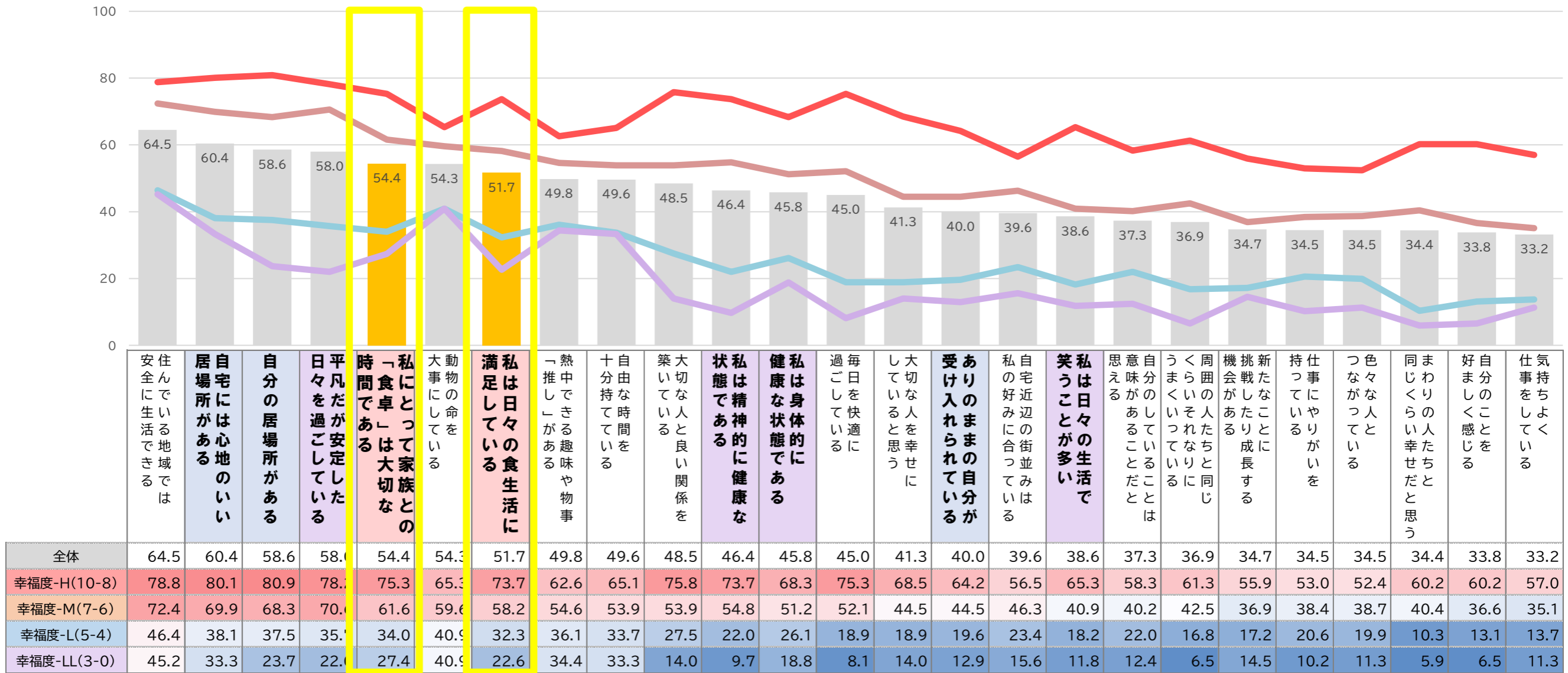
調査地域: 日本全国  
 対象者条件: 15~69歳の女性 / 標本サイズ: n=1,294  
 調査実施時期: 2023年12月

Q. それぞれの項目は、あなたご自身の状況にどの程度あてはまりますか。あてはまるものを1つお選びください。

「家族」「食卓」「食生活」に加えて、「お料理: つくる」も大切な要素としてあがる。



# ウェルビーイングであるための構成要素(男性)

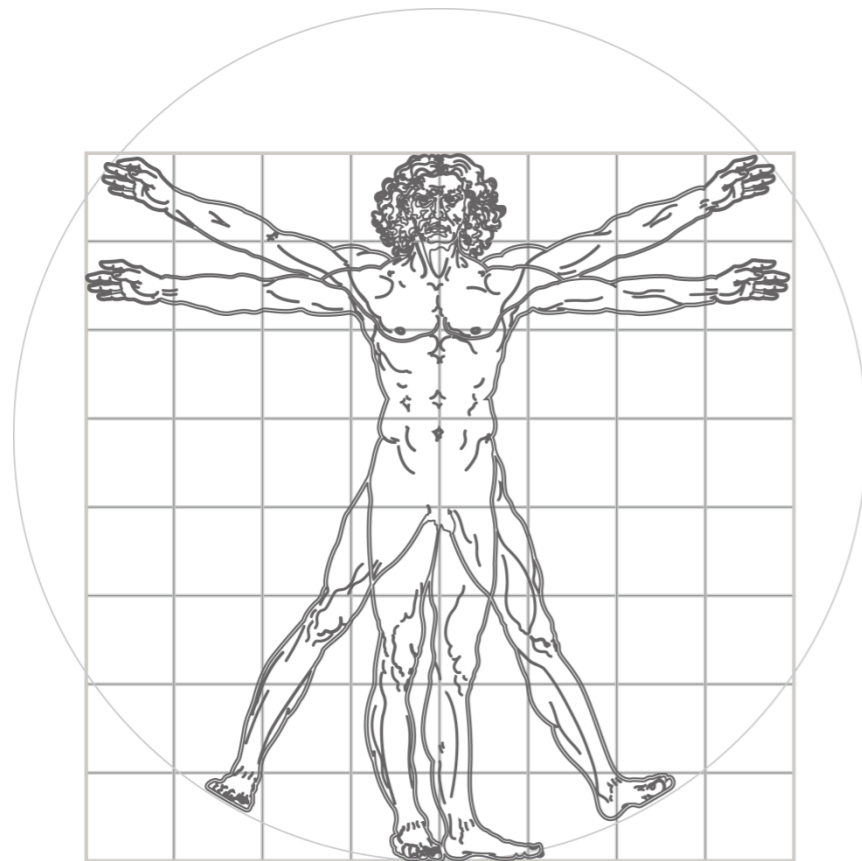


調査地域:日本全国  
 対象者条件:15~69歳の男性 / 標本サイズ:n=1,282  
 調査実施時期:2023年12月

Q. それぞれの項目は、あなたご自身の状況にどの程度あてはまりますか。あてはまるものを1つお選びください。

**‘居場所’や‘心身の健康’は幸福の重要な要素。‘食’も大きな存在感を示す。**

# Understanding Humanity



Leonardo's Vitruvian Man

生活者研究センター（英語名称 Institute for Human Research）はインテージの生活者理解の拠点として2020年8月3日に誕生しました。

長きにわたり蓄積している生活者の消費行動やメディアへの接触行動、さらには、生活意識・価値観データなど膨大な情報を連携・横断して用いるとともに、社内の各領域におけるスペシャリストの経験や知見を織り合わせるにより、生活者を深く理解し、生活者を起点とする情報を発信・提供することを目的として設立されました。

また、クライアントへの直接的な貢献を目的として、共同研究や具体的なプロジェクトへの参画などにも積極的に取り組んでいく予定です。